



## 目指すは悲願の初優勝!

～吉備国際大学硬式野球部～

2013年チームスローガンは  
「Win the Game! ～白いユニフォームを黒く～」

吉備国際大学硬式野球部は、現在、中国地区大学野球連盟一部リーグに所属しています。中国地区大学野球連盟は21校が加盟し、一部から四部までのリーグがあります。その中で、トップリーグである一部リーグに所属できるのは6校しかありません。硬式野球部は、大学が開学した1990年に創部し、99年に一部リーグ昇格以降は、二部リーグ降格は一度もありません。しかし、リー



■問い合わせ 順正学園入試広報室 (☎0120-25-9944)



グ優勝はまだ経験しておらず、今年こそはと、悲願の初優勝を目指し、部員99人は、ホーム球場である神原スポーツ公園野球場などで、日々練習に汗を流しています。

4月6日のリーグ開幕を前に、3月中は神原スポーツ公園や有漢総合グラウンドで、他大学との練習試合を多数予定しています。市民の皆さんの声援は何よりの励みになります。どうか、練習に試合に、選手たちの躍動する姿を見に球場まで来てください。

硬式野球部ホームページ: <http://kibibaseball.jp/>

中国地区大学野球連盟一部リーグ(2013年春季)試合予定

日程	対戦校	会場
4月6・7日	徳山大学	マスカットスタジアム(倉敷市)
4月13・14日	岡山大学	周南市野球場(山口県)
5月4・5日	福山大学	JFE西日本グラウンド(福山市)
5月11・12日	東亜大学	下関球場(山口県)
5月25・26日	岡山商科大学	マスカットスタジアム(倉敷市)

※各週2日にわたり2試合を行います。対戦成績が1勝1敗の場合は翌日3試合目を行います。

# 地名をさぐる

## 八十七 多和山

高梁から国道三三三号線に沿って北に行くと、高梁市有漢町と真庭市の境に古くから交通の難所といわれた「多和山峠」があります。この峠は、現在、「多和山トンネル」になっていきます。「多和山峠」は、古くには東の陣が敵山(四八四三メートル)と西の多和山(四四五三メートル)に挟まれた「追」に当たる海拔約三五〇メートル付近にありました。峠への登り口には、大谷上組、中組、下組の集落が点在し、南西に流れ



多和山から見た中津井

る大谷川が高梁市巨瀬町で有漢川と合流して、峠付近は南へ流れる中津井川(旭川の支流)との分水嶺に当たる場所なのです。峠のふもとにある大谷地区は、江戸初期頃には下有漢村の枝村だった大谷村でした。その後は、下有漢中村の枝村となったと記録されています。峠の南側と北側とは古代から文化が異なっていて、北側には定古墳や大谷一号墳があり、大型で古墳の様式も違ってきます。江戸時代の元和三年(一六一七)から松山藩領として、池田氏や水谷氏の支配を受け、後の延享元年(一七四四)から石川氏の支配となつて、石川氏が伊勢亀山に転封されると、中津井陣屋の支配を受けて幕末を迎えています。「多和山峠」は古くから落合往来の交通の難所で大変淋しい場所でしたが、「多和山越え」として知られ、多くの人が往来し、物資の輸送も頻繁に行われた峠でした。尾根越えの道を登り切ると、向う側の世界が広がって、ほとと一休みする峠として、「こちら」と「あちら」を分ける境目として、また文化を結びつける場所として、古くから人々が「多和山峠」を大切にしてきた交通の要衝でした。峠

付近には集落もでき、長い軒をもつ宿屋があつて、博労などが泊つていた(「有漢町史」とか、現在、藤森さんの家のある場所は、以前茶店があつた(藤森勝年さんの話)といわれ、峠に関わる家もあつて、にぎわっていたことがうかがえるのです。

「多和山」に信仰も生まれ、牛馬の安全、交通の安全、旅の安全を祈願した「馬頭観音」や「伯楽天王」(馬をつかさどる星)「大日如来」(明治四〇年)などの石仏が残つていたり、峠へ上がり切ったところには「寛政二戌年(二七九〇)と書かれた石仏が祭られ「境目信仰」(峠信仰)の名残が読み取れるのです。「多和山」という地名は、中国地方では「峠」のことを「たわ」と読むことが多く、したがって「タワヤマ」とは「峠山」の意味で「峠山峠」は「たわ」と「とうげ」を重ねて表記した珍しい自然地名なのです。

「たわ」(たお)は、峠の古称なのですが、国字といわれるもので、漢字ではありません。山の鞍部、すなわち、たわんだところという意味から「たわ」「たお」という呼び方が平安時代以降に使われるようになったといわれています。古くから「たわ越え」という言葉が



多和山の登り口にある石仏

使われていました。日本は山国で「タワ」「タオ」の地名が多く、特有の文字が充てられていて、峠・峯・巒・峠・峠・多和山などの文字は、いずれも「とうげ」の概念をなんとなく表わっていて面白いと思います。「方言文字」とか「地方字」というのだそうです。(「字通」II平凡社)

また、峠には「柴折り神」という、柴を折って手向ける信仰があつて、その「タムケ」という言葉から音便となつて「トウゲ」という地名が生まれたともいわれています。(地名の語源 II 角川書店、「地名用語語源辞典」II 東京堂、「日本の地名」II 岩波新書)

今では、国道三三三号線に多和山トンネルが開通して、多和山の峠道は往來の面影が薄れて峠の歴史も忘れられようとしています。(文・松前俊洋さん)

# 成羽病院通信



## 骨粗しょう症治療薬について

整形外科非常勤医師 迫間 巧将

最近、骨粗しょう症に対する治療薬が多く出てきており、当院でもさまざまな薬を使っています。

人間の骨は簡単に言うと、鉄筋コンクリートと同じ構造をしています。鉄筋は「コラーゲン線維」、コンクリートは「リン酸カルシウム」です。骨粗しょう症というのは、鉄筋がさびてきて、コンクリートがはげた状態のことです。つまり治療法には、鉄筋のさびをとる方法とコンクリートを追加する方法があるのです。

骨粗しょう症の薬で、現在主流なのは、コンクリートを追加する薬で、コンクリートを増やす効果が強いのですが、鉄筋のさびはとれません。また、女性にしか使えませんが、鉄筋のさびをとってコンクリートも増やすという薬もあります。さらに、ビタミンD製剤も補助的に使われています。ビタミンDは、鉄筋とコンクリート両方に効果があり、ほかの薬の作用を助けます。そのほかに、新しく鉄筋コンクリートを作りかえる注射もあります。

これらを、患者さんの状態に合わせて選択していきます。自分の状態や、薬の詳しい話など、聞きたいことがある人は、整形外科外来でご相談ください。

■問い合わせ 成羽病院事務局 (☎3111)

